

就労継続支援A型事業所におけるスコア表(全体)

事業所名: 福祉の店きずな
住所: 岡山県美作市福本621番地2
電話番号: 0868-74-0080

事業所番号: 3311500114
管理者名: 小林 大輔
対象年度: 令和3年度

(I) 労働時間
①1日の平均労働時間が7時間以上
②1日の平均労働時間が6時間以上7時間未満
③1日の平均労働時間が5時間以上6時間未満
④1日の平均労働時間が4時間30分以上5時間未満
⑤1日の平均労働時間が4時間以上4時間30分未満
⑥1日の平均労働時間が3時間以上4時間未満
⑦1日の平均労働時間が2時間以上3時間未満
⑧1日の平均労働時間が2時間未満
55点

(IV) 支援力向上(※)
①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会
②研修、学会等又は学会誌等において発表
③視察・実習の実施又は受け入れ
④販路拡大の商談会等への参加
⑤職員の人事評価制度
⑥ピアサポーターの配置
⑦第三者評価
⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等
小計(注2): 1点

(II) 生産活動
①前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賃金の総額以上
②前年度及び前々年度における生産活動収支のうち前年度における生産活動収支のみが利用者に支払う賃金の総額以上
③前年度及び前々年度における生産活動収支のうち前々年度における生産活動収支のみが利用者に支払う賃金の総額以上
④前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賃金の総額以上ではない
40点

(III) 多様な働き方(※)
①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度
②利用者を職員として登用する制度
③在宅勤務に係る労働条件及び勤務規律
④フレックスタイム制に係る労働条件
⑤短時間勤務に係る労働条件
⑥時差出勤制度に係る労働条件
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度
⑧傷病休暇等の取得に関する事項
小計(注1): 3点

(V) 地域連携活動
地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している
10点

項目別点数表
労働時間: 55点
生産活動: 40点
多様な働き方: 15点
支援力向上: 15点
地域連携活動: 10点

合計: 135点 / 200点

(※) 任意の5項目を選択すること (注1) 8以上:35点、6~7:25点、1~5:15点

就労継続支援 A 型事業所におけるスコア表 (実績 I ~ IV)

(I) 労働時間

前年度 (平成30年度)

雇用契約を締結していた全ての利用者における延べ労働時間	15,261	時間
-----------------------------	--------	----

雇用契約を締結していた延べ利用者数	2,977	人
-------------------	-------	---

利用者の1日の平均労働時間数	5.1	時間
----------------	-----	----

(II) 生産活動

会計期間 (4月~3月)

前々年度 (2年度)

生産活動収入から経費を除いた額	4,690,007	円
-----------------	-----------	---

利用者に支払った賃金総額	4,677,710	円
--------------	-----------	---

収支	12,297	円
----	--------	---

前年度 (3年度)

生産活動収入から経費を除いた額	4,491,203	円
-----------------	-----------	---

利用者に支払った賃金総額	4,459,255	円
--------------	-----------	---

収支	31,948	円
----	--------	---

(III) 多様な働き方

前年度 (年度) における実績 (全体表「(III) 多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めており、前年度の実績がある」と選択した場合に実績を記載)

① 免許・資格取得、検定の受検動奨に関する制度

① 免許・資格取得、検定の受検動奨に関する制度を活用した人数	名
※取得を進めた免許等:	
制度の活用内容:	

② 利用者を職員として登用する制度

② 職員として登用した人数	名
◎うち1名は雇用継続期間が6月に達している	<input type="checkbox"/>
◎うち1名は前年度末日まで雇用継続している	<input type="checkbox"/>
※登用した日	年 月 日
勤務形態:	
就業時間:	時 分 ~ 時 分
職務内容:	

③ 在宅勤務に係る労働条件及び服務規律

③ 在宅勤務を行った人数	名
※実施した期間:	月 日 ~ 月 日
就業時間 (在宅勤務):	時 分 ~ 時 分
職務内容:	

④ フレックスタイム制に係る労働条件

④ フレックスタイム制を活用した人数	名
※実施した期間:	月 日 ~ 月 日
就業時間 (コアタイム):	時 分 ~ 時 分
職務内容:	

⑤ 短時間勤務に係る労働条件

⑤ 短時間勤務に従事した人数	名
※実施した期間:	月 日 ~ 月 日
就業時間 (短時間):	時 分 ~ 時 分
職務内容:	調理補助

⑥ 時差出勤制度に係る労働条件

⑥ 時差出勤制度を活用した人数	名
※実施した期間:	月 日 ~ 月 日
就業時間 (早出の場合):	時 分 ~ 時 分
就業時間 (遅出の場合):	時 分 ~ 時 分
職務内容:	調理補助

⑦ 有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度

⑦ 時間単位取得を活用した人数	7 名
⑦ 計画的付与制度を活用した人数	名
※取得した制度	<input checked="" type="checkbox"/> 有給休暇の時間単位取得
	<input type="checkbox"/> 計画的付与制度
取得した期間:	2月 22日 ~ 2月 22日
取得日数・時間	日 2時間

⑧ 傷病休暇等の取得に関する事項

⑧ 傷病休暇等を取得した人数	名
※取得した内容:	
取得した期間:	月 日 ~ 月 日
就業時間:	時 分 ~ 時 分
職務内容:	

(※) 当該制度等を活用した任意の1名の実績を記載

(IV) 支援力向上

前年度 (年度) における実績 (全体表「(IV) 支援力向上」の各項目の取組ありとした場合に実績を記載)

① 研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会

① 研修計画を策定している	<input checked="" type="checkbox"/>
① 研修実施回数	外部 1回 / 内部 回
対象職員数	6 人
うち研修受講者数	1 人
※研修名	全国生産活動・就労支援部会職員研修会
研修講師	日高幸哉ほか
実施日・受講者数	12月 6日 1人

② 研修、学会等又は学会誌等において発表

② 研修、学会等又は学会誌等において発表している回数	回
※研修、学会等名	
実施日	月 日
※学会誌等名	
掲載日	月 日
発表テーマ	

③ 視察・実習の実施又は受け入れ

③ 先進的事業者の視察・実習の実施している	<input type="checkbox"/>
③ 他の事業所の視察・実習を受け入れている	<input type="checkbox"/>
※先進的事業者名	
実施日 / 参加者数	月 日 人
※他の事業所名	
実施日 / 参加者数	月 日 人

④ 販路拡大の商談会等への参加

④ 販路拡大の商談会等への参加回数	回
※商談会等名	
主催者名	
日時	月 日
内容	

⑤ 職員の人事評価制度

⑤ 職員の人事評価制度を整備している	<input type="checkbox"/>
◎当該人事評価制度を周知している	<input type="checkbox"/>
人事評価制度の制定日	年 月 日
人事評価制度の対象職員数	名
うち昇給・昇格を行った者	名
当該人事評価制度の周知方法	

⑥ ピアサポーターの配置

⑥ ピアサポーターを配置している	<input type="checkbox"/>
◎当該ピアサポーターは「障害者ピアサポーター研修」を受講している	<input type="checkbox"/>
※配置期間	月 日 ~ 月 日
就業時間	
職務内容	

⑦ 第三者評価

⑦ 前年度末日から過去3年以内に福祉サービス第三者評価を受けている	<input type="checkbox"/>
※評価を受けた日	月 日
第三者評価機関	

⑧ 国際標準化規格が定めた規格等の認証等

⑧ ISOが制定したマネジメント規格等の認証等を受けている	<input type="checkbox"/>
※認証を受けた日	月 日
規格等の内容	

(※) 実績のうち1事例を記載

各項目について適宜、実績がわかる情報を追加すること。

就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	福祉の店さずな	事業所番号	3311500114
住 所	岡山県美作市福本621-2	管理者名	小林 大輔
電話番号	0868-74-0080	対象年度	令和3年度

地域連携活動の概要

<p><活動内容></p> <p>活動場所：美作市 実施日程：通年 実施した生産活動・施設外就労の概要 高齢者宅への弁当配達、安否確認</p>	<p><活動の様子></p>  
<p><目的></p> <p>地域連携活動のねらい：食事に困っている高齢者宅へお弁当を配達し食事面のサポートを行う。 地域にとってのメリット：高齢者の生活不安の解消、安否確認の充実 対象者にとってのメリット：地域で活動する事で社会性を身に付ける。知識、経験、コミュニケーション等のスキルの獲得を目指す。</p>	
<p><成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の方と触れ合う事で社会性が身に付き、困りごとを抱えている人の役に立つことで思いやりの心の育成にもつながっている。 ・お客様から温かい感謝の言葉を貰う事で、励みや喜びにつながり、仕事への意欲も向上しており、自分の仕事に対して誇りを持つことができるようになっていく。 <p>課題点 引き続き注文して頂けるよう飽きのこないメニューの工夫</p>	

連携先の企業等の意見または評価

連携した結果に対する意見または評価：今後の連携強化に向けた課題
お弁当の利用でお世話になっております。
配達に関しても問題なく約束通りのルールで届けられ、お弁当の内容に関しても利用されている方から「美味しく食べている」と伺っております。今後、益々地域での活躍を願っております。

連携先企業名	美作市社会福祉協議会	担当者名	村上 眞紀子
--------	------------	------	--------